

総合戦略に係る重点戦略-戦略プログラムの事業評価一覧表

重点戦略	I 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る	総合評価		
		B:65.6 / 100ポイント		
戦略プログラム	1 安心して家庭を築ける環境創出プログラム	重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価	総合評価
		17.7 / 30ポイント	56.0 / 70ポイント	B:73.7 / 100ポイント
		2 安心して出産・子育てができる環境創出プログラム	重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
	0 / 30ポイント		55.7 / 70ポイント	C:55.7 / 100ポイント
	3 子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム		重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
		12.0 / 30ポイント	55.4 / 70ポイント	B:67.4 / 100ポイント
		重点戦略	II 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る	総合評価
			B:69.4 / 100ポイント	
	戦略プログラム	1 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム	重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
9.6 / 30ポイント			56.0 / 70ポイント	B:65.6 / 100ポイント
2 商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム			重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
		19.5 / 30ポイント	57.1 / 70ポイント	B:76.6 / 100ポイント
		3 強い農業の確立プログラム	重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
9.9 / 30ポイント			56.0 / 70ポイント	B:65.9 / 100ポイント
重点戦略			III 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る	総合評価
			B:66.5 / 100ポイント	
戦略プログラム		1 移住・定住が進むまち創出プログラム	重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
	18.0 / 30ポイント		56.0 / 70ポイント	B:74.0 / 100ポイント
	2 支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム		重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
		7.5 / 30ポイント	55.7 / 70ポイント	B:63.2 / 100ポイント
		3 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム	重要業績評価指標(KPI)評価	重点施策事業評価
	6.9 / 30ポイント		55.4 / 70ポイント	B:62.3 / 100ポイント
	全体総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)			
	赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略:重点戦略-戦略プログラムの進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。			B:67.2 (100ポイント)

重点戦略	Ⅱ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る		
戦略プログラム	1 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム		
<p><課題・対策> 生産年齢人口が減少していく中で地域経済の活力を取り戻すためには、今まで以上に若者が地域において活躍の機会を創ることが重要である。 このため、新たに産業・社会基盤を整備し、若者が地域において産業・社会基盤を整備し、若者世代の転出を食い止めるとともに新たな転入を図り、定住人口の増加が進み賑わいと活気にあふれるまちの形成を図る。</p>			
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 24px; font-weight: bold; color: white;">評価シートの見方</div>			
$(0\% + 40\% + 65\% + 24\%) \div 4 = 32\%$			
重要業績評価指標 (KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・ 新たな企業用地の確保 10 ha(2ha×5年)	・ 新たな企業用地の確保 0 ha	0%	32%
・ 新規企業立地件数 5 件	・ 新規企業立地件数 2 件	40%	
・ 新規立地企業の雇用創出数(100人×5年) 500 人(平成27年度～平成31年度累計)	・ 新規立地企業の雇用創出数 65 人(平成27年度末累計) (65人/100人)	65%	
・ 製造品出荷額 85,924 百万円(H25年岡山県統計年報) ⇒ 100,538 百万円(H30年) ※町村を除く	・ 製造品出荷額 89,408 百万円(H26岡山県統計年報) ※町村を除く	24%	

重点施策	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 24px; font-weight: bold; color: white;">(4 + 4 + 4 + 4) ÷ 4 = 4.0</div>		
<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな企業用地の確保 ● 広域交通網基盤の整備促進 	平均達成度		
<p><主な取組> ●[重点]企業立地支援事業(別冊:P7) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 赤磐市企業立地促進奨励金及び赤磐市物流施設誘致促進奨励金交付規則の一部改正を平成28年3月に実施した。 ⇒ 雇用促進奨励金制度として、新設又は増設により新規常用雇用者に対する奨励金(公的団地:30万円/人、民有地:15万円/人)を創設した。</p> <p>●[重点]市道等整備計画(別冊:P9) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 市道岩田長尾線及びあかいわ山陽総合流通センター地区計画道路について、概略設計により現道有効利用の観点から複数のルート案を作成し、概算工事の算出を実施した。</p> <p>○工業団地造成事業(別冊:P13) ⇒ 事業達成度:4 ○広域交通基盤の整備促進(別冊:P14) ⇒ 事業達成度:4</p>			4.0

● 規制の見直しによる企業誘致の促進	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]規制の見直しによる企業誘致の促進(別冊:P8) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 都市拠点整備構想の策定のための関連する計画や他部局の関係施策等の整理を実施した。 ⇒ 有識者懇談会の開催により今後の構想策定において、客観的で有益な意見聴取が行えた。関係機関との調整を随時実施し、熟度をあげて、産業、経済活性化エリアの方針決定や都市計画マスタープランの見直し、区域区分の見直し、用途地域の設定に係る準備が行えた。</p>	4.0
● 積極的な企業誘致の展開 ● 魅力的な企業の誘致促進 ● 優れた創業環境の情報発信 ● 誘致した企業への支援	平均達成度
<p><主な取組> ○企業誘致情報発信事業(別冊:P10) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 企業誘致PRにおいて紹介できる用地が民有地しかないことから、具体的な企業誘致セールスが行えない課題があるものの、市長(トップセールス)による企業訪問が4社、赤磐市HPでの空き工場用地(民有地)の掲載を2件、おかやま・企業立地セミナーIN大阪へ4名参加、市内企業49社に訪問活動を実施した。</p> <p>○企業誘致促進アドバイザー制度(別冊:P11) ⇒ 事業達成度:4 ○快適な工業団地づくり(別冊:P12) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0
● 新規立地企業の人材確保支援 ● 地域の若者の定着、UIターン就職の推進	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]あかいわに戻ろうプロジェクト(別冊:P92) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 就職説明会等帰省費用助成、結婚祝金、新婚家庭家賃助成、就職説明会出展費用等U・I・Jターン支援となるよう助成制度を創設した。 ⇒ Facebookやツイッターと連動して広く情報発信ができる仕組みづくりを行うとともに、ネットワーク組織や専用ホームページ、SNS等のICTを活用して、地域の情報、仕事の情報、住居・市内での就職説明会や婚活イベント等の開催、一時帰省する企業・赤磐市で結婚・居住する場合の助成制度の紹介等、若者の地域定着・UIターンのきっかけづくりを行う体制整備が整った。</p> <p>○人材確保支援、UIターン、地域の若者の定着推進事業(別冊:P105) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 24px; font-weight: bold; color: white;">30ポイント × 32% = 9.6</div>	
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 24px; font-weight: bold; color: white;">70ポイント × ((4.0 + 4.0 + 4.0 + 4.0) ÷ 4) ÷ 5段階 = 56.0</div>	
重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価 : (30ポイント) × 平均進捗率 ⇒	9.6
戦略プログラムに係る重点施策事業評価 : (70ポイント) × (平均達成度のAvg/5) ⇒	56.0
総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。	B(65.6)

重点戦略	I 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る		
戦略プログラム	1 安心して家庭を築ける環境創出プログラム		
<p><課題・対策> 若者世代の未婚率の上昇、晩婚化、晩産化は進み、少子化の大きな要因となっているが、国の調査によると、「独身男女の約9割は結婚意思を持ち」、「希望子ども数も2人以上」である。 希望どおりに結婚を実現できない背景には、若者世代が「雇用が不安定」、「所得が低い」状況にあることや「適当な相手にめぐり合わない」といったことが指摘されているほか、男性正社員の有配偶者率は、30代前半で約58%であるのに対して、非正規雇用の場合は、30代前半で約23%と、正社員の半分以下にとどまっていることから、若者世代に『相応の収入や安定的な雇用形態といった、質を重視した雇用を確保』することで、若者が『安定的な経済的基盤』を手にすることが重要となっている。 このため、市内に安定的で良質な雇用の場を確保することで、若者が『市内に住みながら市内で働いたときに、経済的自立ができる』地域の形成を目指す。</p>			
重要業績評価指標(KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・有効求人倍率(和気公共職業安定所管内) 平成26年度平均 0.92 ⇒ 平成31年度平均 1.13	・有効求人倍率 平成27年度平均 1.13	100%	59%
・婚活支援による成婚組数(6組×5年) 30組(平成27年度～平成31年度までの累計)	・婚活支援による成婚組数 2組(平成27年度末までの累計)	33%	
・婚姻件数(岡山県衛生統計年報) 平成24年 151件 ⇒ 平成31年 200件	・婚姻件数(岡山県衛生統計年報) 平成25年 172件 ※参考(平成27年度婚姻届窓口受理件数 153件(郵送分含まず))	43%	

重点施策	
● 若者の経済的安定	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]企業立地支援事業(別冊:P7) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 赤磐市企業立地促進奨励金及び赤磐市物流施設誘致促進奨励金交付規則の一部改正を平成28年3月に実施した。 ⇒ 雇用促進奨励金制度として、新設又は増設により新規常用雇用者に対する奨励金(公的団地:30万円/人、民有地:15万円/人)を創設した。 ●[重点]あかいわ創業塾・あかいわ創業支援ネットワーク連携強化(別冊:P17) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 赤磐市創業支援事業計画に基づき、市内での創業の促進を目的に創業希望者を対象して経営、財務、人材育成、販路開拓を中心に創業に必要な知識、ノウハウ等を習得するための専門家による講座「あかいわ創業塾」を(9/6,9/13,9/27,10/4,10/11/全5日間講習)実施した。</p>	4.0

● 多様な働き方の提案	平均達成度
<p><主な取組> ○多様な働き方の提案(別冊:P40) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 子育て世代やアクティブシニア世代に「クラウドソーシング」という時間と場所に縛られない多様な働き方を紹介する認知セミナーを開催し、121人の子育て世代などの方に関心を持っていただいた。また、この中から30人の方がクラウドワーカーとして働いてみようとしてステップアップ講座を受講され、最終的に17人の方がクラウドソーシングに魅力を感じ、民間事業者と実際に業務契約の締結にまで至る成果があった。</p>	4.0

● 結婚に結びつく支援の推進 ● 世帯のニーズに対応した住宅助成の充実	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]あかいわに帰ろうプロジェクト(別冊:P92) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ あかいわに帰ろうプロジェクト特設ホームページ「おかえりあかいわ」及びスマートフォンアプリケーションを作成し、Facebookやツイッターと連動して広く情報発信ができる仕組みづくりを構築した。 ⇒ 結婚祝金、新婚家庭家賃助成、就職説明会等帰省費用助成、就職説明会出展費用助成等U・I・Jターン支援となるよう助成制度を創設した。 ⇒ 同郷出身者ネットワークの構築に向けての土台づくりを実施した。 ●[重点]移住定住推進事業(別冊:P91) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 東京、大阪、名古屋で開催された移住・定住フェアに参加し、赤磐市のPR及び移住の促進を実施した。《ブース来場者》5/23(東京)5組、7/12(東京)7組、7/25(大阪)7組、10/17(名古屋)1組、1/23(東京)2組、2/7(大阪)11組 《地域おこし協力隊ブース》1/17(東京)21組 ⇒ 区長の協力のもと、熊山地域全家屋の空き家調査を実施した。(熊山地域の全世帯数(平成27年4月1日現在)4,078世帯) ○世帯のニーズに対応した住宅助成の充実(別冊:P41) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0

○ その他	平均達成度
<p><取組> ●協働のまちづくり推進事業(別冊:P116) ⇒ 4 ●魅力的な中心市街地の形成(別冊:P96) ⇒ 4 ○中小企業等支援事業(別冊:P21) ⇒ 4 ○人材確保支援、UIJターン、地域の若者の定着推進事業(別冊:P105) ⇒ 4</p>	4.0

重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント)×平均進捗率 ⇒	17.7
戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント)×(平均達成度のAvg/5) ⇒	56.0
総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『安心して家庭を築ける環境創出プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。	B(73.7)

重点戦略	I 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る		
戦略プログラム	2 安心して出産・子育てができる環境創出プログラム		
<課題・対策> 子どもは赤磐市の未来を担う宝であり、子どもの人権が守られ、子どもが元気なまちは、希望にあふれた活気のあるまちへとつながるため、『地域の子どもは地域で守り育てる』ことを目標に、家庭、地域、学校、NPO、医療機関、事業者等の多様な関係者が共通の認識や目標を持ち、しっかりと手を携えて地域ぐるみで子育てを支えることにより、出産・子育てに理解のある生活環境や雇用環境を創出し、市内外の子育て世代に『赤磐市で子どもを産み育てたい』という気持ちを抱いてもらえるような、子育て環境の良い赤磐市を地域全体で創り上げる。			
重要業績評価指標(KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・「子育て支援のための総合窓口」の設置 3箇所 ※平成26年度末時点 0箇所	・「子育て支援のための総合窓口」の設置 0箇所(1箇所開設準備実施中)	0%	0%
・認定こども園の数 1箇所 ※平成26年度末時点 0箇所	・認定こども園の数 0箇所(2箇所開設準備実施中)	0%	
・乳児健診受診率 平成26年度 94.2% ⇒ 平成31年度 95.0%	・乳児健診受診率 平成27年度 92.2%	0%	
・合計特殊出生率(岡山県衛生統計年報) 1.55(H24年 全国 1.41、岡山県 1.47) ⇒ 1.58(H29年)	・合計特殊出生率 1.40(H25 全国 1.43、岡山県 1.49)	0%	

重点施策	
● 出産・子育ての不安に対する情報・サービスの提供体制の整備	平均達成度
<主な取組> ●[重点]不妊・不育等治療助成事業(別冊:P44) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 不妊・不育治療に関する正しい知識の普及や子どもを望むご夫婦の経済的負担を少しでも軽減することを目的に、保険適用外の治療費の一部を助成した。 ⇒ 平成27年度助成実績は、不妊治療:2,278,298円/27件、不育治療:実績なし ○子ども・子育て利用者支援事業(別冊:P53) ⇒ 事業達成度:3	3.5

● 子どものけが、病気等への対応	平均達成度
<主な取組> ●[重点]子ども医療費給付事業(別冊:P43) ⇒ 事業達成度:5 ⇒ 子育てに係る経済的負担の軽減と子どもの健康維持を目的として、保険診療に係る総医療費のうち、保護者の自己負担分を助成した。 ⇒ 平成27年度助成実績は、医療費:208,642,580円(102,920件) ○24時間電話健康相談事業(別冊:P47) ⇒ 事業達成度:5 ○県南東部圏域救急医療体制(別冊:P48) ⇒ 事業達成度:4	4.7

● 子育てサービス・保育サービスの充実	平均達成度
<主な取組> ●[重点]認定こども園整備事業(別冊:P45) ⇒ 事業達成度:3 ⇒ 平成27年度においては、赤坂統合保育園の造成工事着手、園舎建築設計、認定こども園の基本的運営内容を決定した。また、桜が丘東認定こども園の定員を90人、幼保連携型認定こども園として平成29年4月1日の開園予定と決定した。 ○母子保健事業(別冊:P46) ⇒ 事業達成度:4 ○多子世帯の保育料負担軽減措置(別冊:P55) ⇒ 事業達成度:4	3.7

● 地域ぐるみの子育て支援(地域の子は地域で育てる)	平均達成度
<主な取組> ○幼児クラブ育成事業(別冊:P49) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 保護者の子育てに関する不安の軽減を図り、安心して子育てができる環境づくりのため、幼児クラブ連絡協議会を3回開催し、延べ44名の参加があり、地域活性や組織育成、育児環境整備を実施した。また、幼児クラブリーダー講習会(子育て講座と合わせて実施)参加者34名、幼児クラブ健康教室を12回開催し、延べ親127名、幼児100名、乳児34名の参加があった。「健やか親子交流会」では、20名参加があり愛育委員・栄養委員と協働した事業を実施した。 ○愛育委員による子育て支援活動(別冊:P50) ⇒ 事業達成度:4 ○栄養委員による子育て支援活動(別冊:P51) ⇒ 事業達成度:4 ○民生委員児童委員活動事業(別冊:P52) ⇒ 事業達成度:3 ○子ども・子育て支援事業(別冊:P54) ⇒ 事業達成度:3	4.0

● 仕事と子育ての両立の支援	平均達成度
<主な取組> ○ひとり親家庭自立支援事業(別冊:P56) ⇒ 事業達成度:4 ○男女共同参画事業(別冊:P120) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 男女がお互いの個性や能力を認め合い、その個性や能力が発揮でき、生活できるよう男女共同参画の意識の醸成を図る普及啓発活動(講演会:250人、セミナー:延べ122人)を実施した。また、DV予防の意識啓発を行うとともに、庁内連携組織をはじめとした関係機関との連携を強化し、DV被害者等の相談(窓口相談:18件)・支援体制の充実を図った。	4.0

重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント) × 平均進捗率 ⇒	0.0
戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント) × (平均達成度のAvg/5) ⇒	55.7
総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『安心して出産・子育てができる環境創出プログラム』の進捗状況は、概ね良好であるものの、事業効果が現れるまで時間を要する。	C(55.7)

重点戦略	I 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る		
戦略プログラム	3 子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム		
<p><課題・対策> 『教育環境の良いところで子どもを育てたい』という希望をかなえるため、子どもが落ち着いて学習でき、確かな学力の定着と豊かな心、たくましく生きる力を健やかに育ていける教育環境を創出する。 また、郷土に誇りと愛着を持ち、未来に向かって限りない可能性を切り開いていける人材を育成できる学校・地域を創り上げる。</p>			
重要業績評価指標(KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・「授業の内容がよくわかる」と答える児童・生徒の割合 (全国学力調査小・中学校全教科の平均値) 平成26年度 75.7% ⇒ 平成31年度 80.0%	・「授業の内容がよくわかる」と答える児童・生徒の割合 平成27年度 小学校 81.8%、中学校 69.1% (小中学校平均 75.5%)	0%	40%
・全国学力調査の結果(全国平均正答率との差) 平成26年度 マイナス 2.8 ポイント ⇒ 平成31年度 全国平均レベル	・全国学力調査の結果 平成27年度 マイナス 3.1 ポイント (小中平均正答率 58.6 / 全国平均正答率 61.7)	0%	
・学校非構造部材耐震化率 (構造部材耐震率 平成26年度末時点 100%) 100% ※平成26年度末時点 0%	・学校非構造部材耐震化率(67%/500%) 平成27年度末時点: 小学校校舎 0%、小学校体育館 17%、中学校校舎 0%、中学校体育館・格技場 33%、幼稚園 17%	13%	
・学校無線LAN整備率(小中学校 17校) 100% ※平成26年度末時点 0%	・学校無線LAN整備率 平成27年度末時点 59%(10校整備) (10校/17校)	59%	
・家庭教育講座参加者(年間) 平成31年度 1,000人	・家庭教育講座参加者 平成27年度 753人 (753人/1000人)	75%	
・ヤングボランティア養成事業参加者数(20人×5年) 100人(平成27年度～平成31年度までの累計)	・ヤングボランティア養成事業参加者数 19人(平成27年度末までの累計) (19人/20人)	95%	

重点施策	平均達成度
<p>● 学習環境の整備</p> <p><主な取組> ●[重点]非構造部材耐震補強事業(別冊:P58) ⇒ 事業達成度:4 ●[重点]生活環境整備事業(別冊:P59) ⇒ 事業達成度:4 ●[重点]ICT機器整備事業(別冊:P63) ⇒ 事業達成度:4 ●[重点]通学路等防犯カメラ設置事業(別冊:P66) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 市内31か所に33台の通学路防犯カメラを設置し、登下校の見守り体制を強化した。 ⇒ 平成27年度中は、画像の提供を求められる事案は無く、防犯カメラの設置を知らせる看板での犯罪抑止効果が引き続き期待できる。 ○遠距離通学支援事業(別冊:P71) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0

● 確かな学力の定着に向けた教育の充実	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]赤磐市学力向上アクションプラン(別冊:P64) ⇒ 事業達成度:3 ●[重点]産官学連携協力事業(別冊:P65) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 平成26年度からモデル校(6年生)で継続実施している岡山大学の開発した学習ドリルは、継続した取組により個人別の結果が返され、個人での伸びを確認することができた。ベネッセの学習教材については、日々の取組の成果を学年末の実力診断テストで確認することができた。平成26年度の結果と比べると、成績に伸びが見られ顕著な効果が見られた。 ○外国語指導助手配置事業(別冊:P70) ⇒ 事業達成度:4 ○赤磐市学力向上プラン(別冊:P73) ⇒ 事業達成度:4 ○放課後子ども教室推進事業(別冊:P78) ⇒ 事業達成度:4</p>	3.8

● 郷土の魅力を認識できる教育活動の推進	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]資料館運営事業(別冊:P67) ⇒ 事業達成度:5 ⇒ 市制施行10周年記念事業企画展「赤磐の王墓」を開催し、1,931人の参加者があった。勾玉作り、ガラス玉作りなどの講座を2回開催し、市内外の小学校に対して見学説明を実施した。 ⇒ 市制施行10周年記念事業としての企画展や講座を開催したことにより、例年より多くの来館者を得ることができた。それにより、市民の歴史に対する理解を深めることができた。 ○郷土の魅力を生かした学習活動推進事業(別冊:P76) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.5

● 心身ともに健康な幼児、児童、生徒の育成	平均達成度
<p><主な取組> ○赤磐市不登校対策アクションプラン(別冊:P72) ⇒ 事業達成度:3 ⇒ 毎月10日以上の欠席児童状況調査を行うことで、市内各校の実態把握を行い、ケース会の開催や関係機関との連携等、積極的に推進した。また、登校支援員、スクールソーシャルワーカー等の配置により、不登校の未然防止、不登校児童生徒への登校支援を実施した。 ○青少年健全育成事業(別冊:P86) ⇒ 事業達成度:4 ○ヤングボランティア養成事業(別冊:P87) ⇒ 事業達成度:4</p>	3.7

○ その他	平均達成度
<p><取組> ○食育推進活動(別冊:P69) ⇒ 4 ○学校経営支援事業(別冊:P74) ⇒ 3 ○読書活動の充実(別冊:P75) ⇒ 4 ○学校支援地域本部事業(別冊:P77) ⇒ 4 ○モデル幼稚園教育の充実(別冊:P79) ⇒ 4 ○異校種合同研修事業(別冊:P80) ⇒ 4 ○教育支援委員会の活性化(別冊:P81) ⇒ 4 ○通級指導教室の充実(別冊:P82) ⇒ 4 ○つくしんぼ就学相談事業(別冊:P83) ⇒ 4 ○学校園間交流体験事業(別冊:P84) ⇒ 3 ○家庭教育講座(別冊:P85) ⇒ 4 ○人権教育推進事業(別冊:P88) ⇒ 4 ○食育推進事業(別冊:P89) ⇒ 3 ○人権啓発・相談事業(別冊:P121) ⇒ 4</p>	3.8

重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント) × 平均進捗率 ⇒	12.0
戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント) × (平均達成度のAvg/5) ⇒	55.4

総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。	B(67.4)

重点戦略	Ⅱ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る		
戦略プログラム	1 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム		
<p><課題・対策> 生産年齢人口が減少していく中で地域経済の活力を取り戻すためには、今まで以上に若者が地域において産業・社会の担い手として能力を発揮できる環境を創ることが重要である。 このため、新たな企業立地により地域に安定的で良質な雇用を確保し、若者が地域において産業・社会の担い手として能力を発揮できる環境を整えることにより、若者世代の転出を食い止めるとともに新たな転入を図り、定住人口の増加が進み賑わいと活気にあふれるまちの形成を目指す。</p>			
重要業績評価指標 (KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・ 新たな企業用地の確保 10 ha(2ha×5年)	・ 新たな企業用地の確保 0 ha	0%	32%
・ 新規企業立地件数 5 件	・ 新規企業立地件数 2 件	40%	
・ 新規立地企業の雇用創出数(100人×5年) 500 人(平成27年度～平成31年度累計)	・ 新規立地企業の雇用創出数 65 人(平成27年度末累計) (65人/100人)	65%	
・ 製造品出荷額 85,924 百万円(H25年岡山県統計年報) ⇒ 100,538 百万円(H30年) ※町村を除く	・ 製造品出荷額 89,408 百万円(H26岡山県統計年報) ※町村を除く	24%	

重点施策		平均達成度
● 新たな企業用地の確保 ● 広域交通網基盤の整備促進		
<p><主な取組> ●[重点]企業立地支援事業(別冊:P7) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 赤磐市企業立地促進奨励金及び赤磐市物流施設誘致促進奨励金交付規則の一部改正を平成28年3月に実施した。 ⇒ 雇用促進奨励金制度として、新設又は増設により新規常用雇用者に対する奨励金(公的団地:30万円/人、民有地:15万円/人)を創設した。</p> <p>●[重点]市道等整備計画(別冊:P9) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 市道岩田長尾線及びあかいわ山陽総合流通センター地区計画道路について、概略設計により現道有効利用の観点から複数のルート案を作成し、概算工事の算出を実施した。</p> <p>○工業団地造成事業(別冊:P13) ⇒ 事業達成度:4 ○広域交通基盤の整備促進(別冊:P14) ⇒ 事業達成度:4</p>		4.0

● 規制の見直しによる企業誘致の促進	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]規制の見直しによる企業誘致の促進(別冊:P8) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 都市拠点整備構想の策定のための関連する計画や他部局の関係施策等の整理を実施した。 ⇒ 有識者懇談会の開催により今後の構想策定において、客観的で有益な意見聴取が行えた。関係機関との調整を随時実施し、熟度をあげて、産業、経済活性化エリアの方針決定や都市計画マスタープランの見直し、区域区分の見直し、用途地域の設定に係る準備が行えた。</p>	4.0

● 積極的な企業誘致の展開 ● 魅力的な企業の誘致促進 ● 優れた創業環境の情報発信 ● 誘致した企業への支援	平均達成度
<p><主な取組> ○企業誘致情報発信事業(別冊:P10) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 企業誘致PRにおいて紹介できる用地が民有地しかないことから、具体的な企業誘致セールスが行えない課題があるものの、市長(トップセールス)による企業訪問が4社、赤磐市HPでの空き工場用地(民有地)の掲載を2件、おかもやま・企業立地セミナーIN大阪へ4名参加、市内企業49社に訪問活動を実施した。</p> <p>○企業誘致促進アドバイザー制度(別冊:P11) ⇒ 事業達成度:4 ○快適な工業団地づくり(別冊:P12) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0

● 新規立地企業の人材確保支援 ● 地域の若者の定着、UIJターン就職の推進	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]あかいわに戻ろうプロジェクト(別冊:P92) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 就職説明会等帰省費用助成、結婚祝金、新婚家庭家賃助成、就職説明会出展費用等U・I・Jターン支援となるよう助成制度を創設した。 ⇒ Facebookやツイッターと連動して広く情報発信ができる仕組みづくりを行うとともに、ネットワーク組織や専用ホームページ、SNS等のICTを活用して、地域の情報、仕事の情報、住まいの情報等を発信する他、市内での就職説明会や婚活イベント等の開催、一時帰省する際の費用助成制度の紹介、赤磐市で結婚・居住する場合の助成制度の紹介等、若者の地域定着・UIJターンのきっかけづくりを行う体制整備が整った。</p> <p>○人材確保支援、UIJターン、地域の若者の定着推進事業(別冊:P105) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0

重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント)×平均進捗率 ⇒	9.6
戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント)×(平均達成度のAvg/5) ⇒	56.0
総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。	B(65.6)

重点戦略	Ⅱ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る		
戦略プログラム	2 商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム		
<p><課題・対策> 『地域に形成されている産業基盤をベースにした産業振興』を基本路線として、交流と連携をキーワードに、関係機関と協力して産業面における幅広い支援を行うことにより、地域に根付く産業の活性化や高付加価値を生む新たな産業の創出を図る。 このことにより、地域に安定的で良質な雇用の場の確保を図り、定住人口や交流人口が増加する、賑わいと活気があるまちの形成を目指す。</p>			
重要業績評価指標(KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・創業者数(15人×5年) 75人(平成27年度から31年度までの累計)	・創業者数 平成27年度 12人 (12人/15人)	80%	65%
・年間商品販売額(岡山県統計年報) 31,795百万円(H25年)⇒35,123百万円(H29)※ 町村を除く	・年間商品販売額(岡山県統計年報) 35,490百万円(H26年)※町村を除く	111%	
・観光入込客数(岡山県観光客動態調査) 平成26年 467,000人/年 ⇒ 平成31年 530,000人/年	・観光入込客数(H27岡山県観光客動態調査) 平成27年 470,411人/年	5%	

重点施策	
● 産業振興人材の育成	平均達成度
<p><主な取組> ○市職員研修派遣(別冊:P19) ⇒ 平成28年度開始 ○赤磐市の産業を支援し、振興を図っていく機関の創設(別冊:P20) ⇒ 平成28年度開始 ⇒ 地域産業を支援・育成するためのスキルを持った市職員を育成するため研修派遣先と人事協定を締結した。 ⇒ 平成28年度においては、人材育成研修会への参加促進を行い、産業支援センター(仮称)の設立準備として、検討委員会の設置等を行う。</p>	-

● 交流・連携等による地域産業の活性化	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]あかいわ創業塾・あかいわ創業支援ネットワーク連携強化(別冊:P17) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 赤磐市創業支援事業計画に基づき、市内での創業の促進を目的に創業希望者を対象にして経営、財務、人材育成、販路開拓を中心に創業に必要な知識、ノウハウ等を習得するための専門家による講座「あかいわ創業塾」を(9/6,9/13,9/27,10/4,10/11/全5日間講習)実施した。</p>	4.0

● 創業のための包括的支援	平均達成度
<p><主な取組> ○中小企業等支援事業(別冊:P21) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 市内の中小企業者小規模事業者が抱える経営課題に対応し、中小企業者が事業の安定経営ができるよう商工会や金融機関等関係機関と連携を図り、支援を行った。 ⇒ 平成27年度助成実績は、商工業起業家奨励金11名(2,200千円)、中小企業等専門家派遣事業補助金1社(16.7千円)、中小企業等ホームページ作成支援事業補助金2社(98千円)、中小企業等展示会出展事業補助金6社(600千円)</p>	4.0

● 周遊・滞在できる観光ルートの形成 ● 観光受入体制の整備	平均達成度
<p><主な取組> ○観光資源整備等事業(別冊:P22) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 観光客の誘致、観光情報の発信のため市内観光施設の維持管理を実施した。 ⇒ 集客力のある周遊観光ルートを形成するため滞在を視野に入れ、近隣自治体等との広域連携体制の構築準備を実施した。また、訪日外国人受け入れのための多言語対応型の受入環境整備の計画策定を行った。 ○歴史・文化・芸術情報発信事業(別冊:P23) ⇒ 事業達成度:4 ○文化財保護啓発事業(別冊:P24) ⇒ 事業達成度:5 ○史跡保存整備事業(別冊:P25) ⇒ 事業達成度:5 ○芸術文化活動推進事業(別冊:P26) ⇒ 事業達成度:4 ○永瀬清子の里づくり事業(別冊:P27) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.3

● シティプロモーションの推進	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]シティプロモーションの推進(別冊:P16) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ あかいわモモちゃんのマスコットキャラクター化を実施した。 ⇒ 各種イベントへの出展(旬のあかいわ白桃フェア3回(岡山駅ほか)、旬のあかいわぶどうフェア2回(大阪駅ほか)を実施した。また、映画「種まく旅人～夢のつぎ木～」のロケ地マップ作成を行い、赤磐市の魅力の発信と認知度の向上を図った。 ●[重点]観光情報発信事業(別冊:P18) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 既存の観光パンフレットを見直し、新たに観光DVDを作成した。また、赤磐市の知名度アップを目的に、東京、大阪、岡山、香港でPR活動を通して情報発信した。</p>	4.0

重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント)×平均進捗率 ⇒	19.5
戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント)×(平均達成度のAvg/5) ⇒	57.1

総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。	B(76.6)

重点戦略	Ⅱ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る		
戦略プログラム	3 強い農業の確立プログラム		
<p><課題・対策> 豊かな自然・水と恵まれた気候を活かして、朝日米、雄町米、白桃、ブドウ、黄ニラ等の一大生産地が築かれる等、農業は本市の基幹産業となっている一方で、農業後継者の減少、農業従事者の高齢化、米価等の下落、耕作放棄地の増加等、農業を取り巻く状況は厳しさを増している。 このため、経営感覚を持った農業経営者の育成と活躍しやすい環境の整備、消費者のニーズを踏まえた農産物等の生産・加工・販売の強化と地域ブランド化、先進的な生産技術・施設の導入等に積極的に取り組み、『農業』を『若い世代の安定した雇用を創出するしごと』に育成する。</p>			
重要業績評価指標 (KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・新規就農者数 平成26年度末迄の5年間 39人 ⇒ 平成31年度末迄の5年間 60人 (累計21人増)	・新規就農者数 平成27年度 7人 ⇒ 平成27年度末 累計 46人 (7人/21人)	33%	33%
・GAP認証等の取得 ※雄町米、誉乃AKASAKA、黄ニラ等 平成26年度末 0団体 ⇒ 平成31年度末 3団体	・GAP認証等の取得 平成27年度末 1団体	33%	
・6次産業事業認定 平成26年度末 2団体 ⇒ 平成31年度末 5団体 (累計3団体増)	・6次産業事業認定 平成27年度 2団体認定 ⇒ 平成27 年度末累計 4団体 (2団体/3団体)	67%	
・学校給食における地場食材利用率 平成26年度 49.3% ⇒ 平成31年度 59.3%	・学校給食における地場食材利用率 平成27年度 47.3%	0%	

重点施策		平均達成度
<p>● 経営感覚を持った農業経営者の育成</p> <p><主な取組> ●[重点]多様な担い手の確保・育成(別冊:P29) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 農林業就業奨励金100千円×3名、農大生就農奨励金100千円×1名、青年就農給付金経営開始型1,500千円×6名+750千円×4名、研修体制の整備(是里体験農園)212千円、研修体制の整備(実務研修親方事業)90千円×2名、新規就農経営支援事業2名1,608千円、農業経営者クラブ活動費135千円の支援を実施した。 ●[重点]地域の担い手リーダー育成(別冊:P30) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ さくら営農組合(可真下1支部)が集落営農組織化した。</p>		4.0

● 6次産業化・次世代農業の推進		平均達成度
<p><主な取組> ○耕畜連携の推進(別冊:P36) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 平成27年度実績としては、飼料用米への助成として82名/3,749aに対して交付金を活用した。</p>		4.0

● 農産物の高付加価値化・地域ブランド化の推進		平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]農産物の品質向上、生産振興(別冊:P31) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ GAP認証取得支援:赤坂特産雄町会386千円、園芸産地供給強化事業:JAモモ部会、ブドウ生産協議会533千円、次世代フルーツ生産団地強化事業:JAモモ部会、ブドウ生産協議会6,594千円、是里地域資源活用:3,818千円の支援を実施した。 ●[重点]農産物の販路拡大(別冊:P32) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 販路として国内にとどまらず、海外市場も視野に入れFoodExpo2015(香港)に赤磐市とJA岡山東などで行く「オールあかいわ宣伝隊」としてブースを初出展した。会場では、来場者に試食を勧めながら赤磐市産の白桃、ブドウ、加工品をPRした。 ⇒ 「あかいわ地場食材利用拡大産地消費推進協議会」を設置し、需給調査、視察研修、新メニュー・加工品開発等、合計20回延べ430名参加の会議を実施した。</p>		4.0

● 担い手への農地集積と生産基盤の整備		平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]農作物への鳥獣対策事業(別冊:P34) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 平成27年度実績としては、有害鳥獣捕獲頭数:イノシシ1,051頭・シカ364頭・ヌートリア221頭・タヌキ54頭・カラス172羽であった。 ⇒ 鳥獣被害防止対策協議会を5月と10月に開催、防護柵総実施延長:23,423m、有害鳥獣セミナーを2月に開催し160名の参加者があった。 ○担い手への農地集積(別冊:P37) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 平成27年度実績としては、農地はつつ集積事業:149.6ha/12,294千円、農地集積促進事業:31.3ha/939千円、農地中間管理事業:貸付希望面積/12.9ha・借受希望面積:112.9ha・貸付実績:3.7haであった。 ○生産基盤の整備(別冊:P38) ⇒ 事業達成度:4</p>		4.0

● 多面的機能の発揮		平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]多面的機能向上対策事業(別冊:P33) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 農業・農村の有する多面的機能(国土保全、水源涵養、自然環境保全、良好な景観等)の維持・発揮を図るため、農地や農業用施設の維持管理等行う地域の共同活動に対して支援を実施した。 ⇒ 平成27年度実績としては、多面的機能支払交付金:平成28年度新規参加組織/13組織合計15組織、中山間地域等直接支払事業:第4期/44組織であった。</p>		4.0

重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント)×平均進捗率 ⇒	9.9
---	-----

戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント)×(平均達成度のAvg/5) ⇒	56.0
---	------

総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『強い農業の確立プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。	B(65.9)

重点戦略	Ⅲ 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る		
戦略プログラム	1 移住・定住が進むまち創出プログラム		
<p><課題・対策> 近年、本市では人口減少が進んでおり、このまま放置すれば、地域経済活力の減退やコミュニティの衰退等による市民生活の活力の低下を招き、このことが更なる人口流出を引き起こすことにより赤磐市の存続可能性はより深刻なものとなる。 このため、赤磐市を『暮らしの場』、『働く場』、『生活を楽しむ場』、『子育てをする場』として、豊かな暮らしをおくることのできる魅力的なまちにしていき、赤磐市に住んでいない人には『住んでみたい』と思われ、赤磐市で生活している市民には『住み続けたい』と思われる、『選ばれるまち赤磐市』の実現を目指す。</p>			
重要業績評価指標(KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・空き家情報バンク成約物件数 20件(4件×5年) (平成31年度末時点の累計)	・空き家情報バンク成約物件数 平成27年度 4件成約 4件(平成27年度末時点の累計)	100%	60%
・おためし住宅利用世帯数 6件(1.2件×5年) ※H26年度末時点 0件	・おためし住宅利用世帯数 0件(おためし住宅「赤坂適塾」整備中)	0%	
・新たに転入した世帯数(人口動態調査) 3,200世帯(640世帯×5年) (H27年度～H31年度の累計)	・新たに転入した世帯数 628世帯(H27年度人口動態調査)	98%	
・市街化区域内の未利用地の解消 平成26年度末未利用地 6.3ha ⇒平成31年度末 2.0ha(▲4.3ha)	・市街化区域内の未利用地の解消 平成27年度末未利用地 4.6ha(▲1.7ha) (1.7ha/4.3ha)	40%	
重点施策			
● 赤磐市の魅力発信の推進			平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]あかいわに帰ろうプロジェクト(別冊:P92) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ あかいわに帰ろうプロジェクト特設ホームページ「おかえりあかいわ」及びスマートフォンアプリケーションを作成し、Facebookやツイッターと連動して広く情報発信ができる仕組みづくりを構築した。 ●[重点]シティプロモーションの推進(別冊:P16) ⇒ 事業達成度:4 ●[重点]観光情報発信事業(別冊:P18) ⇒ 事業達成度:4</p>			4.0
● 移住・定住を支援する体制の充実 ● 移住費用軽減施策の充実 ● 移住希望者の大型住宅団地への受入促進			平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]移住・定住を支援する体制の充実(別冊:P91) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 東京、大阪、名古屋で開催された移住・定住フェアに参加し、赤磐市ブース来場者:33組、地域おこし協力隊ブース:21組に対し、赤磐市のPR及び移住促進を実施した。 ●[重点]あかいわに帰ろうプロジェクト(別冊:P92) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 就職説明会等帰省費用助成、結婚祝金、新婚家庭家賃助成、就職説明会出展費用助成等U・I・Jターン支援となるよう助成制度を創設した。 ○世帯のニーズに対応した住宅助成の充実(別冊:P41) ⇒ 事業達成度:4</p>			4.0

● 移住・定住がかなう働く場の確保	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]企業立地支援事業(別冊:P7) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 赤磐市企業立地促進奨励金及び赤磐市物流施設誘致促進奨励金交付規則の一部改正を平成28年3月に実施した。 ⇒ 雇用促進奨励金制度として、新設又は増設により新規常用雇用者に対する奨励金(公的団地:30万円/人、民有地:15万円/人)を創設した。 ●[重点]あかいわ創業塾・あかいわ創業支援ネットワーク連携強化(別冊:P17) ⇒ 事業達成度:4 ○多様な働き方の提案(別冊:P40) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0

● 魅力的な中心市街地の形成	平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]魅力的な中心市街地の形成(別冊:P96) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 土地区画整理事業補助金の算定基準に準じて、組合が施行する道路、水路、公園等公共施設造成費用について、同補助金を交付し事業の推進を行った。 ●[重点]規制の見直しによる企業誘致の促進(別冊:P8) ⇒ 事業達成度:4 ●[重点]安心して利用できる道路等の整備(別冊:P118) ⇒ 事業達成度:4</p>	4.0

○ その他	平均達成度	
<p><取組> ●各種啓発事業(防災)(別冊:P93) ⇒ 4 ●ごみ減量化・3R推進事業(別冊:P94) ⇒ 4 ●つつじ作業所改修事業(別冊:P95) ⇒ 4 ●特定施設周辺整備事業(別冊:P97) ⇒ 4 ○消防体制の充実強化(別冊:P100) ⇒ 4 ○消費者対策の充実(別冊:P101) ⇒ 4 ○交通安全指導・啓発事業及び交通安全施設整備事業(別冊:P102) ⇒ 4 ○環境保全対策事業(別冊:P103) ⇒ 4 ○障害者支援事業(別冊:P104) ⇒ 4 ○人材確保支援、UIJターン、地域の若者の定着推進事業(別冊:P105) ⇒ 4 ○魅力的な中心市街地の形成(別冊:P106) ⇒ 4 ○老朽管更新・改良事業(別冊:P107) ⇒ 4</p>	<p>○下水道整備事業(別冊:P108) ⇒ 4 ●防災体制の充実強化(別冊:P109) ⇒ 4 ○消防団員の入団促進(別冊:P110) ⇒ 3 ○消防団協力事業所認定促進事業(別冊:P111) ⇒ 4 ○生活の安全確保対策(住宅用火災警報器)(別冊:P112) ⇒ 4 ●協働のまちづくり推進事業(別冊:P116) ⇒ 4 ○企業誘致情報発信事業(別冊:P10) ⇒ 4 ○企業誘致促進アドバイザー制度(別冊:P11) ⇒ 4 ○中小企業等支援事業(別冊:P21) ⇒ 4 ○観光資源整備等事業(別冊:P22) ⇒ 4 ○歴史・文化・芸術情報発信事業(別冊:P23) ⇒ 4</p>	4.0

重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価 : (30ポイント) × 平均進捗率 ⇒	18.0
戦略プログラムに係る重点施策事業評価 : (70ポイント) × (平均達成度のAvg/5) ⇒	56.0
総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)	
『移住・定住が進むまち創出プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。	B(74.0)

重点戦略	Ⅲ 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る		
戦略プログラム	2 支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム		
<p><課題・対策></p> <p>年齢、性別、国籍、障害の有無等に関わりなく、全ての市民がかけがえのない存在として尊重される人権尊重・男女共同参画社会を実現することで、地域に住む人が元気に生きがいを持って暮らし、その個性と能力が発揮されている豊かな社会の実現を目指す。</p> <p>また、人と人とのつながりが大切にされ、地域住民、事業者、団体等多様な主体と行政がしっかりと手を携え、協働により地域を支えている社会の実現を目指す。</p> <p>このため、『補完性の原則』を基本として、個人ができることは個人で、個人でできないことは地域で、地域でできないことは行政が担う、市民が主体の自立したまちづくりの推進を図る。</p>			
重要業績評価指標 (KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・地域支えあいのための取組を行う新たな組織の数 10 組織 (2組織×5年)	・地域支えあいのための取組を行う新たな組織の数 1 組織	50%	25%
・「おかやま元気！集落」への登録集落数 3 箇所	・「おかやま元気！集落」への登録集落数 0 箇所	0%	
重点施策			
● 公共交通機関の整備・確保と利用促進			平均達成度
<p><主な取組></p> <p>●[重点]公共交通機関の整備・確保と利用促進(別冊:P114) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>⇒ 新たに広域路線バス路線(赤磐・和気線)を平成27年10月に運行開始した。</p> <p>⇒ 市民バス16路線を継続運行した。山陽地域(西山・高陽南線、高陽北西・高月線)、赤坂地域(笹岡線、北佐古田線)、熊山地域(可真・桜が丘東線、小野田線、豊田・熊山線、石蓮寺線、松木・下市線)、吉井地域(デマンド)(是里線、中山線、滝山線、河原屋線、西勢実線、中勢実線、暮田・平山線)</p>			4.0
● 男女共同参画社会の形成			平均達成度
<p><主な取組></p> <p>○男女共同参画事業(別冊:P120) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>⇒ 男女がお互いの個性や能力を認め合い、その個性や能力が発揮でき、生活できるような男女共同参画の意識の醸成を図る普及啓発活動を実施した。</p> <p>⇒ また、DV予防の意識啓発を行うとともに、庁内連携組織をはじめとした関係機関との連携を強化し、DV被害者等の相談・支援体制の充実を図った。</p> <p>⇒ 平成27年度においては、男女共同参画推進審議会を2回開催、男女共同参画団体ネットワークとの共催事業として、講演会(250人)及びセミナー(延べ122人)を開催し、多くの方に男女共同参画の意識の醸成が図られた。DV被害者等相談・支援活動としては、緊急一時保護体制:実働なし、窓口相談:18件、庁内連携組織担当者連絡会議を2回開催した。倉敷市での日本女性会議へ10名参加した。</p>			4.0

● 市民が主体のまちづくりの推進 ● 支えあいによる地域のつながり		平均達成度
<p><主な取組></p> <p>●[重点]避難行動要支援者名簿整備事業(別冊:P115) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>●[重点]協働のまちづくり推進事業(別冊:P116) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>⇒ まちづくりフォーラム:199人、職員研修:30人、まちづくり人材養成講座:27人の参加者があった。また、市民活動実践モデル事業を創設し、10事業の提案があり、平成28年度事業開始の5事業を採択した。</p> <p>●[重点]旧赤磐市民病院施設を活用した地域包括ケアシステムの地域拠点づくり(別冊:P117) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○行政推進事業(自治振興事業)(別冊:P119) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○人権啓発事業・各種相談事業(別冊:P121) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○人権教育推進事業(別冊:P88) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○愛育委員による子育て支援活動(別冊:P50) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○栄養委員による子育て支援活動(別冊:P51) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○民生委員児童委員活動事業(別冊:P52) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○認知症の見守り事業(別冊:P136) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>○消防団員の入団促進(別冊:P110) ⇒ 事業達成度:3</p> <p>○消防団協力事業所認定促進事業(別冊:P111) ⇒ 事業達成度:4</p>		3.9
● 安心して利用できる道路等の整備		平均達成度
<p><主な取組></p> <p>●[重点]安心して利用できる道路等の整備(別冊:P118) ⇒ 事業達成度:4</p> <p>⇒ 道路については、委託業務による定期的な点検を実施した。橋梁点検については、134橋の点検を実施した。</p> <p>⇒ 道路整備については、市道上市本線の歩道設置工事(延長L=135m)を施工した。また、交通安全施設整備については、カーブミラーN=22基、防護柵L=77m、視線誘導標N=58本、区画線L=3996m等を実施した。</p>		4.0
重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント)×平均進捗率 ⇒		7.5
戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント)×(平均達成度のAvg/5) ⇒		55.7
総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)		
『支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。		B(63.2)

重点戦略	Ⅲ 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る		
戦略プログラム	3 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム		
<p><課題・対策> 高齢者は、豊富な経験と知識を活かして就労や社会貢献を行い、アクティブシニアとして地域を支えることが期待されている。 このため、働く意欲を持った高齢者が地域で活躍できるよう就労支援を進めるほか、高齢者が地域の支え手となれるよう地域活動に参画できる体制を整備することで、孤立の防止、幸福度の向上等、高齢者の生きがいづくりを進めるとともに、その豊富な知識、熟練した技術・技能が若い世代に継承される地域の形成を目指す。 また、高齢者が健康時から終末期まで継続的にケアを受けながら安心して老後を過ごしていけるよう、包括的ケア体制の整備を促進し、地域において生きがいを持てるような「学び」や「運動」の機会の確保を図り、学習活動、社会参加や健康支援、医療・介護サービス等の高齢者向けサービスが提供される取組により、高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域の形成を目指す。</p>			
重要業績評価指標(KPI)	平成27年度進捗状況	進捗率	平均進捗率
・シルバー人材センター会員数 430人(平成31年度末) ※平成26年度末時点 365人	・シルバー人材センター会員数 平成27年度末時点 365人	0%	23%
・特定健診実施率(法定報告値) 平成25年度 19.3% ⇒ 平成31年度 23.0% (3.7%増)	・特定健診実施率(法定報告値) 平成26年度 19.8%	14%	
・要支援や要介護を必要としない高齢者の割合 平成26年度 83.1% ⇒ 平成31年度 84.0% (0.9%増)	・要支援や要介護を必要としない高齢者の割合 平成27年度 83.3%	22%	
・買い物空白地域における買い物支援サービスカバー率 100%	・買い物空白地域における買い物支援サービスカバー率 45%	45%	
・認知症サポーター養成数 4,000人(平成31年度末時点の累計) ※平成26年度末時点 1,327人	・認知症サポーター養成数 平成27年度末時点の累計 2,254人	35%	
重点施策			
● 地域での支えあい			平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]買い物支援見守り事業(別冊:P125) ⇒ 事業達成度:3 ⇒ 高齢者買い物支援・見守りモデル事業の事業実施者として、①小野田ふれあい市場と②まちづくり夢百笑を選定した。また、高齢者買い物支援・見守り支援に使用する移動販売車を2台購入し、それぞれに移動販売車を貸与した。 ●[重点]旧赤磐市民病院施設を活用した地域包括ケアシステムの地域拠点づくり(別冊:P117) ⇒ 事業達成度:4 ○地域包括ケアシステム構築促進事業(別冊:P134) ⇒ 事業達成度:4 ○介護予防・生活支援事業(別冊:P139) ⇒ 事業達成度:4 ○高齢者介護予防施策事業(別冊:P135) ⇒ 事業達成度:4 ○認知症の見守り事業(別冊:P136) ⇒ 事業達成度:4</p>			3.8

● 高齢者の就労支援と社会参加への支援		平均達成度
<p><主な取組> ○高齢者福祉事業(別冊:P138) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 高齢者の生きがいや健康づくりの推進を行った。 ⇒ シルバー人材センター:会員数 365人、就業延人員(請負) 42,020人、事業収入(請負) 183,125,948円、市補助金 9,500,000円 ⇒ 老人クラブ:会員数 4,922人、単位老人クラブ 91クラブ、支部老連 4支部、市補助金 7,944,000円</p>		4.0
● 生涯を通して健やかに暮らせる生活の質の向上推進		平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]赤磐市健康増進計画策定(別冊:P124) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 第1次健康増進計画では、特に肥満改善にむけた健康教室の開催や運動教室の開催、特定健診受診率向上への取り組み、乳幼児の保護者へ育児知識の普及などを実施した。また、平成28年度に第2次健康増進計画を作成するために、他市町の状況把握、資料収集、策定に向けて策定委員の選出や会議の内容検討を行った。 ○健康増進事業(別冊:P129) ⇒ 事業達成度:4</p>		4.0
● 地域医療体制の整備		平均達成度
<p><主な取組> ●[重点]地域医療ミーティング推進事業(別冊:P123) ⇒ 事業達成度:4 ⇒ 地域医療ミーティング推進協議会全体会議を3回、ワーキンググループを4回実施した。また、24時間電話健康相談事業開始に向けての検討、状況把握を行った。各種団体の代表者を対象とした研修交流会、研修座談会を実施し、赤磐市の現状とこれからの医療体制について学ぶ機会とし、各々の立場でできることについての意見交換を行った。 ○訪問看護ステーション運営事業(別冊:P132) ⇒ 事業達成度:4 ○佐伯北・是里診療所運営事業(別冊:P130) ⇒ 事業達成度:4 ○熊山診療所運営事業(別冊:P131) ⇒ 事業達成度:4</p>		4.0
● 救急医療体制の充実強化 ○ その他		平均達成度
<p><取組> ○県南東部圏域救急医療体制(別冊:P48) ⇒ 4 ●山陽老人福祉センター源泉ポンプ交換・修繕(別冊:P126) ⇒ 4 ●図書推進活動事業(別冊:P127) ⇒ 4 ●公民館学習活動推進事業(別冊:P128) ⇒ 4 ○包括的支援事業(別冊:P133) ⇒ 4 ○集いの場の開拓(別冊:P137) ⇒ 4 ○あかまつ荘改修事業(別冊:P140) ⇒ 4 ○体育協会育成事業(別冊:P141) ⇒ 4 ○チャレンジデーへの参加事業(別冊:P142) ⇒ 4 ○社会体育施設管理運営及び学校体育施設開放事業(別冊:P143) ⇒ 4 ○救急隊員の資質向上並びに医療機関等との連携強化(別冊:P144) ⇒ 4</p>		4.0
重要業績評価指標(KPI)に係る平成27年度進捗状況評価:(30ポイント) × 平均進捗率 ⇒		6.9
戦略プログラムに係る重点施策事業評価:(70ポイント) × (平均達成度のAvg/5) ⇒		55.4
総合評価 (E:0~20 D:~40 C:~60 B:~80 A:~100)		
『高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラム』の進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。		B(62.3)